

野口英世記念館リニューアルオープン記念講演会

# アフリカの 感染症・今昔

— エボラ出血熱と黄熱病 —

平成27年

10月10日(土) 14:00~16:00

ヤクルトホール(東京都港区東新橋1-1-19)

主催/公益財団法人野口英世記念会

後援/読売新聞東京本社

**入場無料**

参加をご希望される方は、  
ハガキ、電話、FAX、  
メールのいずれかで  
下記へお申し込みください。  
入場整理券をお送り  
いたします。

司会 公益財団法人野口英世記念会理事 宮村 達男

14:00~14:05

開会の挨拶

公益財団法人野口英世記念会副理事長 竹田 美文

14:05~14:55

西アフリカでのエボラ出血熱流行に見るアフリカ地域での感染症の問題点

元仙台検疫所所長 岩崎恵美子

14:55~15:05

休憩

15:05~15:55

野口英世は落日を観たか? — ガーナでの黄熱病との闘いが遺したもの

東京医科歯科大学大学院教授 太田 伸生

15:55~16:00

閉会の挨拶

公益財団法人野口英世記念会理事 宮村 達男

お問い合わせ  
お申し込み先

〒969-3284 福島県耶麻郡猪苗代町大字三ツ和字前田81 公益財団法人野口英世記念会 総務課  
TEL:0242-85-7867 FAX:0242-23-7122 E-mail:office@noguchihideyo.or.jp

# 講演者プロフィール



岩崎 恵美子

昭和43年新潟大学医学部を卒業。その後渡米。昭和51年帰国後、新潟大学耳鼻科教室に入局、耳鼻科医として研修し、新潟市内の病院に耳鼻咽喉科医長として勤務。50歳を超えて熱帯医学を本格的に学ぶため、平成8年、タイ国のマヒドン大学医学部に入学、熱帯医学・衛生学のディプロマを取得。平成9年JICA派遣専門家としてパラグアイ国において地域保健強化プロジェクトに参加。平成10年4月厚生省成田空港検疫所に勤務、同年11月仙台検疫所所長に就任。平成12年、WHO専門家として、アフリカ・ウガンダのエボラ出血熱流行収束のための医療支援を現地で行う。その後、感染症の専門家として平成15年SARS流行の際には複数の国際会議に日本代表として参加した。平成19年4月仙台市副市長に就任。在職時の平成21年には、新型インフルエンザ対策での仙台方式を確立する。同年、仙台市副市長を辞した後、株式会社健康予防政策機構を設立し、代表として現在に至る。

昨年来の西アフリカでのエボラ出血熱流行は、瞬く間に周辺国に拡がり、感染者や死亡者を増やしました。そして、渡航者や現地で医療に携わった人々を介して世界中に拡散しました。今回の流行拡大は、グローバル化の進んだ現代社会における感染症の脅威を見せ付けてくれました。

現在、世界で認識されている重篤な感染症の多くは動物由来です。その宿主となる動物の多くが生息するアフリカでは、それらの動物と接する環境に住む人々も多く、それらの人が移動することで、地球規模の拡大に繋がっています。

今回メディアから流れる映像を観ながら、私は、WHOの専門家として2000年にウガンダ・グルでのエボラ出血熱アウトブレイクに対応した時と、人々の環境があまり変わっていないことを知り、驚きました。

途上国で長い間仕事をしてきた私は、感染拡大の要因は、それぞれの感染症の病原性の強弱以上に、現地の人々の生活習慣が大きく影響しており、その基本を作ってきた、かつての宗主国の影響が大きいことを痛感して来ました。



太田 伸生

東京医科歯科大学大学院・国際環境寄生虫学分野 教授  
昭和26年8月生まれ

信州大学医学部卒、東京医科歯科大学大学院修了  
国立予防衛生研究所、岡山大学、名古屋市立大学を経て2006年より現職

専門領域：寄生虫学、寄生虫の感染免疫、熱帯医学など  
日本寄生虫学会理事、日米医学協力寄生虫疾患専門部会長などを歴任  
2008年より東京医科歯科大学・ガーナ野口記念医学研究所共同研究センター代表者として、年間5回程度ガーナに赴く

黄熱病はアフリカの人々からも「忘れられた感染症」である一方で、なお警戒すべき熱帯病であることは黄熱病ワクチン接種証明書がアフリカ諸国入国の条件であることが明示している。約90年前に野口英世は黄熱病流行制圧のために赴いたガーナで黄熱病を得て客死した。当時は原因も予防法も十分な情報がなかったが、黄熱病は今やワクチンで予防できる病気である。アフリカ諸国では黄熱病対策のために社会システムが構築された一方で、黄熱病に対する人々の関心は急速に低下してしまった。

黄熱病は過去の病気なのであろうか？本講演では、アフリカ諸国における黄熱病の過去と現在を振り返ると同時に、黄熱病を含む蚊媒介性ウイルス感染症の問題点を検証したい。蚊媒介性ウイルス感染症対策はグローバルな健康課題として今後益々重要性が高まるが、その大半は黄熱病対策に学んでいる。野口が死を前にしてガーナで眺めた落日の先に21世紀の黄熱病像が映っていたのか知る由もないが、野口が命を賭して取り組んだ黄熱病対策の意義を意識しながら、アフリカの旧くて今日的な問題について考えてみたい。

野口英世  
記念館

# リニューアル オープン

野口英世の生涯と研究を学び、細菌の世界を体験できます。



〒969-8284 福島県耶麻郡猪苗代町大字三ツ和字前田81

☎0242(65)2319

野口英世記念館

検索